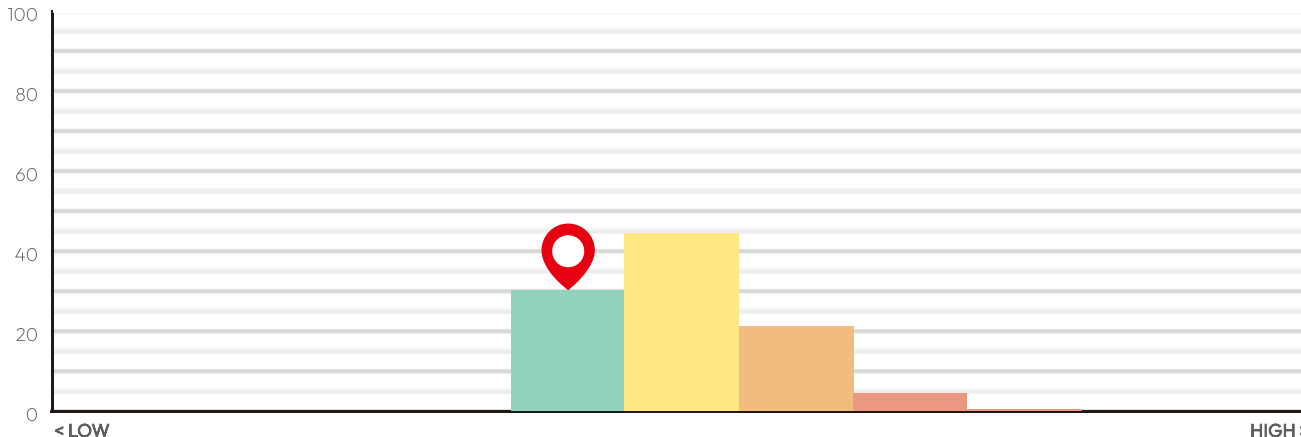


血液中のクエン酸濃度

あなたの遺伝的な血液中のクエン酸濃度は **やや低い傾向** でした



結果説明

クエン酸は柑橘類や食酢、梅干し等に含まれる酸味成分です。簡単に作り出すことができ、安価で安全性も高いため、粉末やサプリメントとしても普及しています。食品添加物として使われることも多く、お菓子やジュースの酸味剤や香料、酸化防止剤、豆腐を作る時の凝固剤など、さまざまな用途があることも特徴です。

項目概要

この項目は「高い傾向」「やや高い傾向」「標準」「やや低い傾向」「低い傾向」の5段階で判定しています。

血液中のクエン酸濃度が高い傾向と判定された方は、遺伝的に血液中のクエン酸濃度が高い傾向の方です。

血液中のクエン酸濃度が低い傾向と判定された方は、遺伝的に血液中のクエン酸濃度が低い傾向の方です。

予防と対策

クエン酸は体内でエネルギーを作り出すクエン酸回路の構成成分です。酸味を感じさせる成分であり、食品ではグレープフルーツやレモンなどの柑橘類、梅干し、食酢などに含まれています。

疲労がたまっている時にクエン酸を多く含む食品を摂取することで回復を促進する効果があるとも言われています。

遺伝子多型の頻度情報/解析遺伝子情報

多型部位	関連遺伝子	遺伝子型			説明	信頼性
		1st (頻度)	2nd (頻度)	3rd (頻度)		
GH050273	ANKH	TT(36.1%)	TC(48.6%)	CC(15.3%)	ANKH遺伝子はピロリン酸レベルを調節するタンパク質を産生する遺伝子です。この遺伝子がTT型TC型の場合、血液中のクエン酸濃度が低い傾向にあると報告されています。	3
GH170236	SLC13A5	AA(1.6%)	AG(17.8%)	GG(80.6%)	SLC13A5遺伝子はナトリウム依存的クエン酸共輸送タンパク質を産生する遺伝子です。この遺伝子がAA型AG型の場合、血液中のクエン酸濃度が高い傾向にあると報告されています。	3
GH170221	SLC13A5	TT(0.0%)	TC(0.0%)	CC(100.0%)	SLC13A5遺伝子はナトリウム依存的クエン酸共輸送タンパク質を産生する遺伝子です。この遺伝子がTT型TC型の場合、血液中のクエン酸濃度が低い傾向にあると報告されています。	3

参考文献

Shin SY, et al. An atlas of genetic influences on human blood metabolites. Nat Genet. 2014 Jun;46(6):543-550. doi: 10.1038/ng.2982. Epub 2014 May 11.